

## 夏期における水難・山岳遭難の防止

〔地域課〕

### 水辺の事故に注意！

水難事故は、一昨年13件16人(死亡9人) 昨年9件10人(死亡3人)と減少傾向でしたが、今年4月末時点で6件7人(死亡3人)と高い発生状況となっております。過去10年間で全体の半数の方が、貯水池や河川への不用意な立入りや海等での転落等、生命への危険が高い事故で亡くなっております。皆さん、「水の怖さ」十分に認識し、安全を最優先にした行動を徹底してください。

#### 水難防止ポイント

- 1 海や川、ため池などに、子供だけで行かせない。
- 2 危険な場所に、子供が近づかないよう指導する。
- 3 水辺では、子供から絶対に目を離さない。
- 4 水辺では、ライフジャケットを着用させる。
- 5 大人が手本を示し、危険な場所で水遊びなどを行っている子供には注意する。
- 6 海では、離岸流や引き潮など潮の流れに注意し、遊泳区域内で遊泳させる。



### 夏山遭難に注意！

- 1 低山や里山での遭難が増加  
行き慣れた山こそ「油断大敵」、必ず家族などに行き先を伝え、携帯電話を持ってください。
- 2 熱中症、脱水症に注意  
こまめにスポーツドリンク等を補給し、吸湿速乾性に優れたウェアを着用するなど、熱中症・脱水症対策を万全にしてください。
- 3 急激に変化する夏の気候に注意  
急激な上昇気流による積乱雲で「落雷」の発生が高まります。局地的に発生した積乱雲を見たら姿勢を低くするなどの退避行動を取ってください。台風や集中豪雨などの「鉄砲水」も大変危険です。こまめに気象情報を確認し、天候が急変する前に避難する等、安全を確保してください。



#### 【登山届の提出方法】～登山の第一歩は登山届の提出です！～

★ 詳しくは県警webサイト「登山届の提出方法」を確認してください

- 警察本部への電子メール・郵送・FAX
- 警察機関(山を管轄する警察署・交番等)への提出
- 登山ポスト・・・登る山の登山ポストへ投函
- スマートフォン・パソコンなどを使用した登山届の作成・提出

宮城県警察では、スマートフォンやパソコンなどで登山届受理システム「コンパス」及び登山地図GPSアプリ「YAMAP」を利用し、登山届の作成・提出ができます。「YAMAPアプリ」   「コンパスアプリ」  

